

わたしの街の **社 紹** 湯川校区社会福祉協議会

湯川校区は、和気清麻呂伝説ゆかりの足立山の麓にあり、小原川、竹馬川が流れ、小原川には「ほたる」が舞い飛ぶ情緒豊かな街です。

世帯数 4,700、人口 12,000 人で少子高齢化も年々速度を速めています。

湯川校区は、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、まちづくり協議会を中心に、自治連合会、社会福祉協議会の連携を深め、自治会と社会福祉協議会の壁を無くそうと努力しています。

地域住民の「繋がり」を膨らませようと、手作り参加型の夏まつりを実施し、多くの住民に地域の活動をアピールしています。



繋がり」の輪が膨らむ「夏まつり」

若い世代の自治会離れが進む中、小中学校PTA、子ども会育成協議会の多忙な子育て世代が盛り上がり始め、年々まつり



の中心になってきました。若い世代にまちづくりを語り合う状況が生まれてきたことは、校区にとって、大変嬉しいことです。

また、ふれあいネットワーク推進協議会を中心にした見守り活動に加え、食事会、映画会、健康セミナーの実施、老人クラブ連合会の友愛訪問、子どもたちを見守る安全パトロール隊の活動、食生活推進協議会の積極的な協力など、地域福祉活動者と住民一人ひとりのふれあいの中から「繋がり」が少しずつ広まりつつあることを実感しています。



世代間交流「一緒に石鹸をつくろう！」

校区の行事や活動者の想いに触れ、感じ、感動してもらうことが、「繋がり」を膨らませる。そんな活動を模索して、湯川校区社会福祉協議会は、これからも多団体と協力しながら「誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指します。

「東水町寿クラブ」－湯川校区社会福祉協議会－

福祉協力員が見守り・訪問活動を行ってみると、一日中テレビと“にらめっこ”で、孤立している高齢者がいかに多いかが分かりました。そんな中、「何か集まるところがあればいいね」ということで始まったサロン活動、今年で10年目を迎えます。80歳代後半の方も多く、参加者の3分の1は男性です。共通の趣味があるとお互いの距離を縮めますが、「男はやっぱり男が誘わんと！」といます。

日頃から個人宅などで、さらに小グループでのサロンも開かれているというだけあって、体操をする間も終始親しげに声をかけ合い、笑い声が絶えません。

一人ひとりがみんな、このサロンの主役なのです。



開催日／開催頻度	毎月第2水曜日 10時00分～13時00分
開催場所	水町集会所
1回の参加人数	30～50人（うち運営スタッフ18人）
参加費	年500円、その他必要に応じ実費負担あり
運営協力	福祉協力員、民生委員、老人クラブ、町内会
これまでの内容例	茶話会、介護予防体操、健口体操、カラオケ、ビデオ鑑賞、町内美化活動、日帰り旅行